

## 組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	庶務課
職	教育次長兼課長
氏名	金戸 清外志

<b>組織の使命・役割</b>	<b>何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か</b>
教育委員会が所管する業務の円滑かつ効率的・効果的な執行を推進するため、組織、人事、予算などの内部管理事務を総括するとともに、教育行政の総合的な企画や調整、広報活動などを行う。 また、少子化、国際化などの社会の変化や情報化などの科学技術の進展等により、学校における学習内容や学習形態が多様化しており、こうした状況に対応できるよう高機能かつ多機能で弹力的な運用が図れる学校施設の整備をはじめ、子どもたちが安全で快適に学び、安心して過ごすことができる魅力ある学校づくりを進める。	



<b>組織の目標 (定性的目標)</b>	<b>使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か 何をどのような状態にしたいか</b>
<p>1 教育行政の効率的・効果的な執行体制の確立            -県財政がかいつてない厳しい状況に直面する中で、創意工夫をこらして、教育行政の総合的な企画・調整を行うとともに、県立学校管理費の適正な執行管理を行う。            -有為の人材を養成するため、経済的理由により高等学校、大学等への進学が困難な者に対する育英資金の貸与を行う。            -行財政改革大綱に基づき、さらに効率的・効果的な事務執行体制を確立するとともに、人材の確保・育成を図る。            -県民の教育に対する関心と理解を深めるため、学校・家庭・地域の連携を推進する。            -職員が健康で安心して職務に専念することができるよう、健康の保持・増進を図る。</p> <p>2 教育環境の整備充実            ア 老朽化した校舎等の改築等の整備を計画的に実施することにより、安全で快適に学べる教育環境を整備する。            イ 新学習指導要領を踏まえ、観察・実験活動を一層重視し、科学的思考力を育むための環境整備を推進するため、観察・実験に係る理科設備の充実を図る。</p>	



<b>26年度に重点的に取り組むべき課題</b>	<b>左記の具体的な内容を記載する</b>
1 ・就学援助の充実	本県における有為な人材の育成を図るため、経済的理由により高等学校、大学等へ進学が困難な者に対し貸与する育英資金の充実等に取り組む
2 ア 老朽校舎の改築等整備	金沢桜丘高等学校の校舎等改築、金沢泉丘高等学校等の耐震補強・大規模改造
イ 理科教育設備の充実	理科実験・観察器具及び視聴覚機材の整備